奥州市埋蔵文化財調査センター 所報

鎮守府 胆沢城

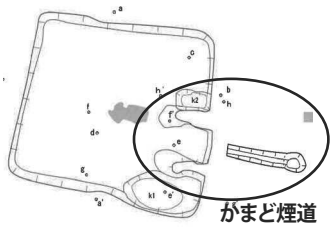
第116号　令和6年1月17日発行

胆沢城下の支配

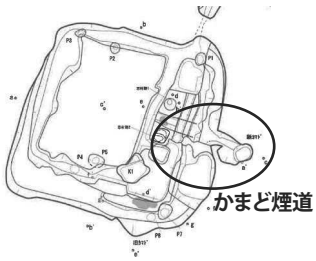
奥州市埋蔵文化財調査センター所長　佐藤 良和

802年、胆沢城が造営されると胆沢のムラには大きな変化が生まれました。反乱防止と支配強化が目的です。

発掘調査から、胆沢城造営以前から続く集落と造営後新たに設けられる集落があります。二つの集落で見つかる竪穴建物跡（住居跡）の煙道（かまどの煙を外に出す施設）の長さには長短、有無がみられます。胆沢城造営以前の煙道はほぼ長いものですが、煙道が短いものやないものは在地にはみられず、関東方面との関係が考えられています。このことは胆沢城造営以前から続く集落でも新しく設けられた集落でも在地民と他地域から来た人々が同じ集落に暮らしていたことを物語っています。このようにして在地社会を解体し、これまでのコミュニティーを破壊したのです（※煙道の有無に関しては発掘調査以前に上面が削られているものもありますので、見極めが必要です）。

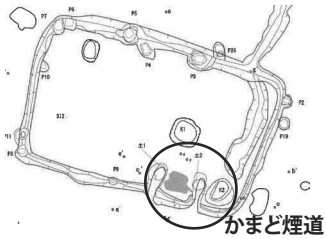


①煙道が長い竪穴建物跡



②煙道が短い竪穴建物跡

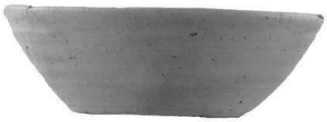
※①②の竪穴建物跡は右に煙道が延びている。



③煙道がない竪穴建物跡

※①②と異なり③の竪穴建物跡は下に延びるはずの煙道がない

北鵜の木遺跡出土　須恵器蓋



北鵜の木遺跡出土　坏

このようにこれまでの在地社会は解体されますが、新しい技術も導入されます。その1つが須恵器の生産です。胆沢扇状地の残丘上に立地した見分森遺跡では、窯跡が2基見つかっています。また須恵器生産の可能性がある遺跡が北鵜の木遺跡です。北上川の東岸の丘陵部に立地し、粘土採掘坑や工房跡と思われる竪穴建物跡が見つかっています。地域住民の話では「窯のような跡があった」との話も聞かれます。北鵜の木遺跡で見つかった工房跡（竪穴建物跡）も、煙道が長いもの、短いもの、ないものが見つかっており、在地の人とともに他地域の人も集落内に居住していました。出土する土器には常陸（茨城県付近）で作られていた甕と類似した甕が出土しています。常陸から来た人が一緒に暮らしていたかもしれません。

北鵜の木遺跡の北側は河岸段丘となっており、比高差は数十メートルあります。最大の特徴は段丘崖に沿って土塁をめぐらすことです。土塁は防御施設と考えられることから、まだまだ緊張が続いていたのでしょう。

令和5年11月19日（日）盛岡市遺跡の学び館講演会資料より抜粋

こちら まいぶん 整理作業室

▶実測作業風景

1月現在、当センターでは令和５年度に発掘調査を行った町屋敷遺跡の報告書刊行作業が進行しております。また、12月からは奥州市教育委員会より委託を受け、令和２～４年度に奥州市内で行われた発掘調査に関わる図面・遺物の整理作業が新たに始まりました。

市内遺跡整理では年度毎に持ち込まれた遺物を遺跡・調査期間・種類別に登録・仕分けを行う作業から始まりました。登録台帳を元に遺物の種類ごとに洗浄を行い、木製品や鉄製品などの特殊な遺物には必要に応じて水漬けやアルコール処理を施しました。その後、注記と接合作業を開始し12月末にはこれらの作業はすべて終了致しました。

12月中旬からは報告書用に選別された遺物の実測・デジタルトレース作業が始まり、同時に報告書に関連する地図・図面の整理・図版を継続して作成しております。

令和２～４年度では、およそ45遺跡の範囲で試掘調査が実施され、出土した遺物の種類や年代も多岐に渡っていました。また、これらのなかには今年度刊行予定の町屋敷遺跡の試掘調査も含まれています。そのため試掘の時点で出土した土器片を、本調査で該当する遺構から出土した遺物と接合するのか確認を行う場面もありました。

奥州市埋蔵文化財調査センター専門調査員　中村 晃菜

▶デジタルトレース作業風景

＊＊＊ まいぶん研究室 ＊＊＊

末期古墳ってなんだろう？

末期古墳とは古墳時代の終わりに主に北東北で作られたお墓です。古墳時代から律令時代へと社会が変化しても、北東北では依然として小さな土饅頭のような「末期古墳」と呼ばれるお墓が作られ続けます。

「末期古墳」は人を埋葬する施設の違いから2つに大別されます。1つは地面に穴を掘って埋葬する末期古墳、もう1つは川原石などを積んで四角い部屋を作って埋葬する末期古墳です。２種類とも直径10メートル前後ほどの土饅頭のような形で群をなすことから「末期古墳群」と呼ばれることもあります。場合によっては100基以上も作られ続ける場所もあります。古墳群は当時の社会を反映しています。末期古墳には集落のリーダークラスが葬られたのではないかと考えられています。胆沢地方にも川原石を積んだ末期古墳が作られます。後世の開発によって大部分が消滅してしまいましたが、今でも１～２基確認できます。

▶末期古墳（山田町房の沢Ⅳ遺跡）

奥州市埋蔵文化財調査センター所長　佐藤 良和

まいぶんトピックス（令和５年度事業９月～１月）

イベント 9/30(土)
胆沢城平安感謝祭

胆沢城跡歴史公園にて胆沢城平安感謝祭を初めて開催しました。当日は、しずくいしYU-YUファームさんの協力で、流鏑馬（やぶさめ）体験を実施しました。夕方は雨となってしまいましたが、屋台村の開設やセンター展示室の無料公開も行い、多くの方に胆沢城に関心を持ってもらうイベントとなりました。

企画展 10/14(土)～11/26(日)
埋文センター開館30周年記念企画展 古墳からエミシへ

この企画展は、古代東北でエミシと呼ばれた人たちの文化がどのようにしてつくられていったかをテーマに開催しました。稲作を中心とした「古墳文化」と狩猟採集を中心とした「続縄文文化」が混ざりあった独特の文化が奈良時代まで続いたことを発掘調査の成果や出土した遺物をとおして紹介しました。

歴史講座 12/10(日)
鎮守府探訪講座2023 ＜第５回＞

本年度最終回となる第5回講座は、平安宮廷社会を彩った「みちのくの富」にスポットライトを当てた内容でした。都におくられたみちのく産の品々を概観した上で、その中でも「馬」と「金」について、それらが貴族文化に与えた影響も視野に入れながら、詳しく紹介しました。

体験学習会 12/16(土)
平安のお守り『卯槌』をつくろう

平安時代に貴族を中心に贈り合い、正月の初卯の日に飾られたとされる卯槌。五色の糸を重なりに気を付けて丁寧に結び、みなさん心を込めて作っていました。また、おまけとして「あげまき結び」にも挑戦し、昔から親しまれた結びの世界を体験しました。

あげまき結び

バスツアー 1/11(木)
家族でまるごと冒険バスツアー

当財団が管理する4施設をまわるバスツアーを開催しました。埋文センターでは、本物の遺物に触れてもらい、実測図風の調査シートを作成する体験を用意しました。遺物の大きさや厚さを調べたり、拓本（乾拓）をとったりと、普段なかなかできない体験に小学生の親子が挑戦しました。

冬休み工作教室 1/13(土)
古代風アクセサリーをつくろう

土玉で古代風のアクセサリーを作る工作教室を開催しました。子供から大人まで、多くの方にご参加いただき、好きな色や模様を塗って、個性あふれる作品を作りました。感想として「自由に色や模様を組み合わせて作るのが楽しい」「久しぶりに絵具を使い楽しかった」といった声をいただきました。

まいぶん出前体験隊

学校や子供会、団体などを訪問して一緒にものづくりや体験を行う出前体験隊を実施しています。9月から12月の間、4つの団体にお邪魔しました。

9/13(水)

お守りづくり
宅幼老所 結笑楽(水沢)

10/12(木)

羽子板づくり
白山地区センター(前沢)

12/13(水)

勾玉づくり
胆沢愛宕センター(胆沢)

12/27(水)

古代風アクセサリーづくり
ひだまり胆沢(胆沢)

＝埋文センター事業のご案内＝

まいぶん映画上映会

2/10(土)

13:30～15:05 (開場13:00)

《上映時間93分》

●会 場／埋文センター研修室
●入 場／無 料　●定 員／30 人

申込み受付中

令 和 5 年 度

奥州市遺跡発掘調査報告会

・作屋敷遺跡（胆沢）
・中林下遺跡(水沢)
・長者ヶ原廃寺跡(衣川)
・白鳥舘遺跡(前沢)

令和4年度発掘調査調査報告会

3/16(土)

13:30～15:30
(開場13:00)

●会 場／埋文センター研修室
●参加料／無 料　●定 員／50人

2/16㊎9:00より申込み受付開始

……古代の生活にふれてみよう！……

まいぶん出前体験隊

学校やこども会、団体など訪問して一緒に体験！

◇つくってみよう！			
勾玉づくり	600 円 /1 人	アンギン編み	200 円 /1 人
古代風アクセサリーづくり	300 円 /1 人	牛乳パックで羽子板づくり	200 円 /1 人
お守りづくり	300 円 /1 人		
◇やってみよう！			
弓矢体験	1000 円 /1 クラス	火起こし体験	1000 円 /1 クラス

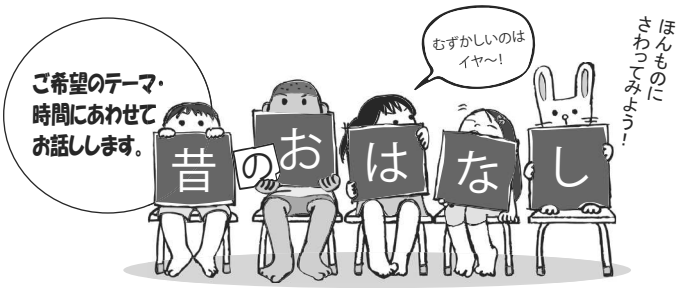
※詳しくは別途チラシをご覧いただくか、直接お問合せください。

縄文？古墳？胆沢城？

……歴史のおはなしを聞く体験……

まいぶん出張講座

（小学校高学年向け）



常設展示のご案内

今から1200年前に作られた胆沢城と古代東北蝦夷をテーマにした展示を行っています。
発掘調査成果や、出土した遺物をご覧ください。

●開館時間／9:00～16:30（入館は16:00まで）
●入 館 料／一般300円（団体15人以上は半額料金）
小・中・高校生 無料
●休 館 日／毎週火曜日・12月29日～1月3日

鬼瓦
胆沢城外郭南門出土
（９世紀）

映像コーナー
『古代東北蝦夷の世界』上映
「蝦夷の世界」を100インチのスクリーン映像で紹介。
（上映時間30分／9:30～15:30の1時間毎に上映）

2階展示室入り口
展示室入り口にたたずむ鎮兵（ちんぺい）の像が、訪れる人を出迎えます。

編集・発行
（一財）奥州市文化振興財団
奥州市埋蔵文化財調査センター
〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字九蔵田96-1
TEL 0197-22-4400　FAX 0197-22-4600
URL　http://www.oshu-bunka.or.jp/maibun/
E-mail　maibun@oshu-bunka.or.jp

私たち一般財団法人奥州市文化振興財団は、
事業理念として
○感動を創り、感動を共有する歴史・文化・スポーツの活動
○心豊かな子どもを未来に翔（はば）たかせる文化・スポーツの創造
を掲げ、取り組んでいます。